

# NEWS RELEASE

平成22年 3月26日

国土交通省中部地方整備局

1. 件名： 平成22年度中部地方整備局関係予算の概要について
2. 概要： 平成22年度中部地方整備局関係予算の配分が決定しましたので、お知らせします。
3. 配布先： 中部地方整備局記者クラブ  
名古屋港記者クラブ
4. 問合せ先： 国土交通省 中部地方整備局
  - < 総括 > 企画課長 荒川 泰二 電話 052-953-8127
  - 会計課長 古家野 隆之 電話 052-953-8135
  - < 都市・住宅関係 > 都市整備課長 中西 賢也 電話 052-953-8573
  - 住宅整備課長 中崎 ふじの 電話 052-953-8574
  - < 河川関係 > 河川計画課長 長田 仁 電話 052-953-8148
  - < 道路関係 > 道路計画課長 四童子 隆 電話 052-953-8168
  - < 港湾関係 > 港湾計画課長 仙崎 達治 電話 052-651-6463
  - < 海岸関係 > 河川計画課長 長田 仁 電話 052-953-8148
  - 港湾計画課長 仙崎 達治 電話 052-651-6463
  - < 官庁営繕関係 > 計画課長 村上 幸司 電話 052-953-8185

平成22年度  
中部地方整備局関係予算の概要



平成22年3月

国土交通省中部地方整備局

# 平成22年度 中部地方整備局関係予算の概要

---

## 目 次

1. 平成22年度中部地方整備局関係予算の配分額 . . . P. 1
2. 主な整備箇所（位置図） . . . . . P. 2
3. 県別の主な整備箇所一覧 . . . . . P. 3
4. 主な整備箇所（個 表） . . . . . P. 6

# 1. 平成22年度中部地方整備局関係予算の配分額

## (1) 事業別配分額【直轄】

(単位:百万円)

区 分	22年度			21年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
治 水	37,676	13,328	51,004	38,805	14,745	53,550
海 岸	4,333	0	4,333	3,745	0	3,745
道 路 整 備	117,554	26,883	144,437	127,958	23,505	151,463
港 湾	14,478	0	14,478	22,403	0	22,403
道路環境整備	21,835	18,334	40,169	29,441	24,111	53,552
都市水環境 整 備	441	1,210	1,651	1,745	1,914	3,659
国営公園等	2,492	0	2,492	2,954	0	2,954
官庁営繕	0	632	632	1,200	1,068	2,268
合 計	198,809	60,387	259,196	228,251	65,343	293,594

(注1) 数字は、事業費ベース(業務取扱費を除く)です。

## (2) 事業別配分額【補助等】

(単位:百万円)

区 分	22年度		
	本省配分	整備局配分 (一括配分)	計
治 水	9,178	4,134	13,312
海 岸	0	0	0
道 路 整 備	9,494	0	9,494
港 湾	3,891	70	3,961
住 宅 対 策	9,353	0	9,353
市街地整備	3,277	0	3,277
道路環境整備	2,646	0	2,646
都市水環境 整 備	0	84	84
下 水 道	19,451	527	19,978
国営公園等	682	423	1,105
小 計	57,972	5,238	63,210
社会資本総合 整 備	448,987	0	448,987
合 計	506,959	5,238	512,197

(注2) 数字は、事業費ベースです。

## (3) 補助事業等の県別配分額

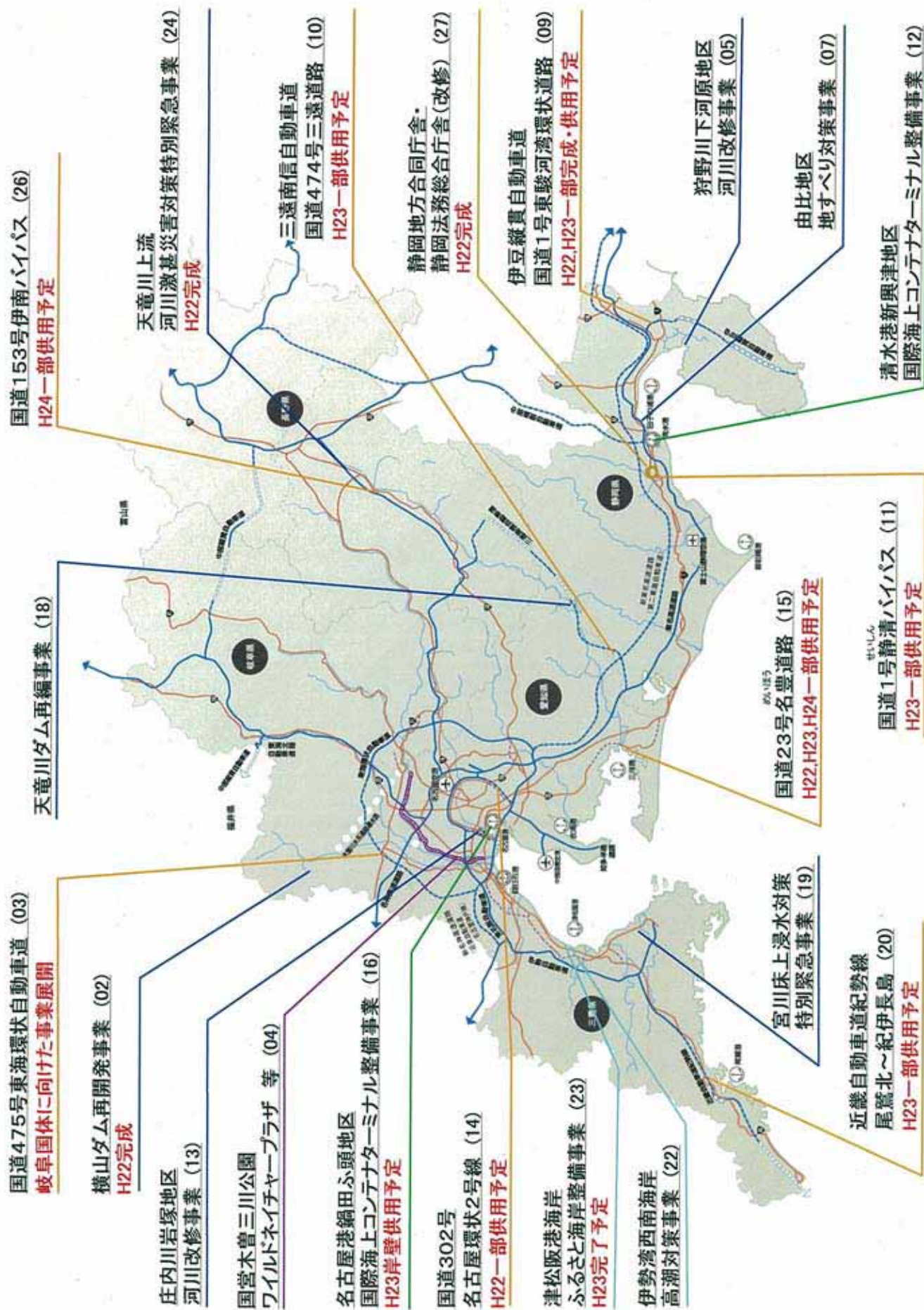
(単位:百万円)

県	22年度		
	補助	交付金	計
岐阜県	11,917	75,253	87,170
静岡県	11,672	114,368	126,040
愛知県	34,520	206,711	241,231
三重県	5,101	52,655	57,756
合 計	63,210	448,987	512,197

(注3) 「公共事業予算の一括配分制度」に基づき、公表しています。

(注4) 計数は、それぞれ四捨五入によっているため、端数において合計と一致しない場合があります。

## 2. 主な整備箇所(位置図)



※ ( )内の数字は、「5. 個表」に掲載している個表番号です。

### 3. 県別の主な整備箇所一覧

#### 【岐阜県内で実施する事業】

	事業名	事業主体	H22当初配分額	個表番号
治水関係	◆長良川上流特定構造物改築事業(犀川統合排水機場) <small>ナガラカワ サイカワ</small>	国	3.9億円	
	◆木曾川上流綾里地区河川改修事業 <small>キノガワ アヤサト</small>	国	7.3億円	1
	◆市之倉流域里山砂防(庄内川) <small>イチノクラ ショウナイガワ</small>	国	0.2億円	
	◆敷原谷第1砂防えん堤(越美山系) <small>シキハラダニ エツミ</small>	国	1.6億円	
	◆横山ダム再開発事業 <small>ヨコヤマ</small>	国	10.5億円	2
	◆新丸山ダム建設事業 <small>シンマルヤマ</small>	国	3.1億円	
道路関係	◆中部縦貫自動車道 国道158号高山清見道路 <small>タカヤマキヨミ</small>	国	2.0億円	
	◆国道475号 東海環状自動車道	国	129.55億円	3
	◆国道41号美濃加茂バイパス <small>ミノカモ</small>	国	6.0億円	
	◆国道41号高山国府バイパス <small>タカヤマコクフ</small>	国	38.3億円	
都市住宅関係	◆国営木曾三川公園(仮称)桜堤サブセンター等 <small>キノサンセン サクラヅツミ</small>	国	3.4億円	4

※H22当初配分額:事業費ベース(業務取扱費を除く)

#### 【静岡県内で実施する事業】

	事業名	事業主体	H22当初配分額	個表番号
治水関係	◆狩野川下河原地区河川改修事業 <small>カノガワ シモカワラ</small>	国	8.7億円	5
	◆安倍川中島地区河川改修事業 <small>アベガワナカジマ</small>	国	3.0億円	6
	◆天竜川下流掛塚地区河川改修事業 <small>テンリュウガワ カケヅカ</small>	国	3.4億円	
	◆安倍川牛妻地区かわまちづくり事業 <small>アベカワウシマ</small>	国	1.0億円	
	◆日向地区砂防えん堤工群(狩野川) <small>ヒナタ カノガワ</small>	国	0.5億円	
	◆由比地区地すべり対策事業 <small>ユイ</small>	国	13.7億円	7
	◆天竜川ダム再編事業 <small>テンリュウガワ</small>	国	8.0億円	8
道路関係	◆伊豆縦貫自動車道 国道1号東駿河湾環状道路 <small>イズ ヒガシスルガワン</small>	国	102.5億円	9
	◆三遠南信自動車道 国道474号三遠道路 <small>サンエンナンシン サンエン</small>	国	47.3億円	10
	◆国道1号静岡バイパス <small>セイシン</small>	国	42.0億円	11
	◆国道1号耐震補強(浜名大橋) <small>ハマナオオハン</small>	国	6.2億円	
港湾関係	◆清水港新興津地区国際海上コンテナターミナル整備事業 <small>シミズ シンオキツ</small>	国	20.0億円	12
	◆清水港日の出地区岸壁(-12m)(改良)整備事業 <small>シミズ ヒノデ ガンベキ</small>	国	5.0億円	
	◆田子の浦港中央地区多目的国際ターミナル整備事業 <small>タゴノウラ</small>	国	14.4億円	
	◆御前崎港女岩地区防波堤整備事業 <small>オマエザキ メイワ</small>	国	3.4億円	
	◆下田港下田地区防波堤整備事業 <small>シモダ シモダ</small>	国	7.3億円	
海岸関係	◆富士海岸高潮対策事業 <small>フジ タカシオ</small>	国	14.2億円	
	◆駿河海岸高潮対策事業 <small>スルガ タカシオ</small>	国	6.3億円	

※H22当初配分額:事業費ベース(業務取扱費を除く)



【愛知県内で実施する事業】

	事業名	事業主体	H22当初配分額	個表番号
治水関係	◆庄内川特定構造物改築事業(県道枇杷島橋等改築) <small>ショウナイガワ ビロジマバシ</small>	国	11.2億円	
	◆庄内川岩塚地区河川改修事業 <small>ショウナイガワイワツカ</small>	国	5.9億円	13
	◆豊川大村地区河川改修事業 <small>トヨカワオオムラ</small>	国	2.2億円	
	◆矢作川下流区間河川改修事業 <small>ヤハギガワ</small>	国	4.1億円	
	◆設楽ダム建設事業 <small>シタラ</small>	国	20.5億円	
道路関係	H23 一部供用予定 ◆三遠南信自動車道 国道474号三遠道路 <small>サンエンナンシン サンエン</small>	国	19.0億円	10
	H22 一部供用予定 ◆国道302号名古屋環状2号線	国	116.6億円	14
	H22,H23,H24 一部供用予定 ◆国道23号名豊道路 <small>メイホウ</small>	国	189.75億円	15
港湾関係	◆名古屋港飛島ふ頭南地区国際海上コンテナターミナル整備事業 <small>ナゴヤ トビシマ</small>	国	18.1億円	
	◆名古屋港鍋田ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業 <small>ナゴヤ ナベタ</small>	国	34.8億円	16
	◆名古屋港庄内川地区泊地(埋没)整備事業 <small>ナゴヤ ショウナイガワ ハクチ</small>	国	9.6億円	
	◆三河港神野地区多目的国際ターミナル整備事業 <small>ミカワ ジンノ</small>	国	6.5億円	17
	◆衣浦港武豊北ふ頭地区多目的国際ターミナル整備事業 <small>キヌウラ タケトヨキタ</small>	国	1.0億円	
	◆衣浦港中央ふ頭西地区岸壁(-12m)(改良)整備事業 <small>キヌウラ ガンベキ</small>	国	1.7億円	
都市住宅関係	◆国営木曾三川公園 ワイルドネイチャープラザ 等 <small>キソサンセン</small>	国	4.2億円	4

※H22当初配分額:事業費ベース(業務取扱費を除く)

【三重県内で実施する事業】

	事業名	事業主体	H22当初配分額	個表番号
治水関係	◆木曾川下流源緑地区河川改修事業 <small>キソガワ ゲンロク</small>	国	3.3億円	18
	◆雲出川特定構造物改築事業(近鉄中村川橋梁改築) <small>クモズガワ ナカムラガワ</small>	国	10.2億円	
	◆宮川床上浸水対策特別緊急事業 <small>ミヤガワユカウエ</small>	国	12.0億円	19
道路関係	H23 一部供用予定 ◆近畿自動車道紀勢線(尾鷲北～紀伊長島) <small>キセイ オワセキタ キイナガシマ</small>	国	164.0億円	20
	◆国道42号熊野尾鷲道路 <small>クマノオワセ</small>	国	90.0億円	
	◆国道475号東海環状自動車道	国	7.45億円	3
	◆国道1号北勢バイパス <small>ホクセイ</small>	国	14.7億円	
	H23 一部供用予定 ◆国道23号中勢道路 <small>チュウセイ</small>	国	59.1億円	
	◆国道23号耐震補強(木曾川大橋、揖斐長良大橋) <small>キソガワオオハシ イビナガラオオハシ</small>	国	7.3億円	
港湾関係	◆四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業 <small>ヨッカイチ カスミガウラキタ</small>	国	15.2億円	21
海岸関係	◆伊勢湾西南海岸高潮対策事業 <small>イセワンセイナン タカシオ</small>	国	6.8億円	22
	◆津松阪港海岸ふるさと海岸整備事業 <small>ツマツサカ</small>	国	16.0億円	23
都市住宅関係	◆国営木曾三川公園 (仮称)七里の渡地区 等 <small>キソサンセン シチリノワタシ</small>	国	7.0億円	4

※H22当初配分額:事業費ベース(業務取扱費を除く)

【長野県内で実施する事業】

	事業名	事業主体	H22当初配分額	個表番号
治水関係	H22完成予定 ◆天竜川上流河川激甚災害対策特別緊急事業 <small>テンリュウガワ ゲキジン</small>	国	6.9億円	24
	H22完成予定 ◆小渋ダム堰堤改良事業(土砂バイパストンネル設置) <small>コシブ エンテイ</small>	国	14.7億円	
	H22完成予定 ◆中田切第4砂防えん堤(天竜川) <small>ナカタギリ テンリュウガワ</small>	国	3.4億円	
	H22完成予定 ◆北股沢床固工群(木曾川) <small>キタマタサワコガタメコウケン キソガワ</small>	国	8.3億円	25
	H22完成予定 ◆三峰川総合開発事業 <small>ミツガワ</small>	国	1.4億円	
道路関係	H24一部供用予定 ◆三遠南信自動車道 国道474号飯橋道路 <small>サンエンナンシン イイダカ</small>	国	19.5億円	
	H24一部供用予定 ◆国道153号伊南バイパス <small>イナン</small>	国	16.0億円	26
	H24一部供用予定 ◆国道19号棧改良 <small>カケハン</small>	国	24.5億円	

※H22当初配分額:事業費ベース(業務取扱費を除く)



木曾川水系揖斐川 河川改修事業（<sup>あやさと</sup>綾里地区）

平成22年度当初： 7.3億円

1. 事業の必要性及び概要

揖斐川の支川杭瀬川では、平成14年7月洪水により相<sup>あいかわ</sup>川の支川大<sup>おおたに</sup>谷川洗堰からの越流により大垣市内で浸水戸数714戸に及ぶ甚大な浸水被害が発生しました。また、平成20年9月出水においても杭瀬川において浸水被害が発生しています。

このような状況に鑑み、堤防の高さ・断面ともに不足している区間において築堤を実施します。

2. 平成22年度の事業内容

築堤 (L=870m)、用地補償 (A=0.1ha)

3. 期待される整備効果

築堤を実施することにより、これまで浸水被害が頻発していた杭瀬川において浸水被害の軽減を図ることができます。



**木曾川水系揖斐川 横山ダム再開発事業**

平成22年度当初： 10.5億円

**1. 事業の必要性及び概要**

横山ダムは洪水調節、かんがい用水の補給、発電の多目的ダムとして、昭和39年に完成した中空重力式コンクリートダムです。

ダム完成後、昭和40年の豪雨などにより、ダム上流域で大規模な土砂の崩落が発生し、貯水池に大量の土砂が流入したため、ダムの貯水容量が減少しました。

揖斐川流域の治水安全度を向上させるため、横山ダム貯水池内の堆積土砂の掘削を行い、容量を回復させるとともに、上流の徳山ダムと連携運用して洪水調節を行い、頻発する出水から地域を守ります。

**2. 平成22年度の事業内容**

貯水池掘削、選択取水設備工事

**3. 期待される整備効果**

平成22年度内に完成させ、上流の徳山ダムと連携して洪水調節を行うことにより、計画高水位を超えた平成14年7月洪水の再来に対しても約0.6m水位を低下させ計画高水位以下で安全に流下させることができます。



流域図



横山ダム



施工状況



国道475号 東海環状自動車道

平成22年度当初：146.0億円

1. 事業の必要性及び概要

国道475号東海環状自動車道は、名古屋市を中心に半径30～40km圏に位置する豊田・瀬戸・岐阜・四日市等の諸都市を相互に連絡し、新東名・名神等と一体となって、名古屋圏の環状道路を形成する延長約160kmの一般国道の自動車専用道路です。

2. 平成22年度の事業内容

【土岐・関】

- 美濃関JCT ・高架橋上部工、下部工

【関・養老】

- 大垣西IC(仮称)～養老JCT(仮称) (L=5.7km、2/4) 【岐阜国体に向けた事業展開】
  - ・橋梁下部、上部工
  - ・養老JCT改良工

【北勢・四日市】

- 四日市JCT～東員IC(仮称)
  - ・東員地区橋梁上部工、東員地区改良工事

3. 期待される整備効果

当該道路の整備により、通過交通のバイパス、中京都市圏への交通の分散導入により、交通渋滞の緩和が期待されるとともに、東海北陸自動車道・新東名・新名神など一体となった広域ネットワークを構築し、観光地へのアクセス向上、緊急医療ネットワークの強化など、地域の発展に大きな役割を果たすこととなります。



大垣市(綾野高架橋)工事状況



国営木曾三川公園（国営公園整備事業）

平成22年度当初： 14.5億円

1. 事業の必要性及び概要

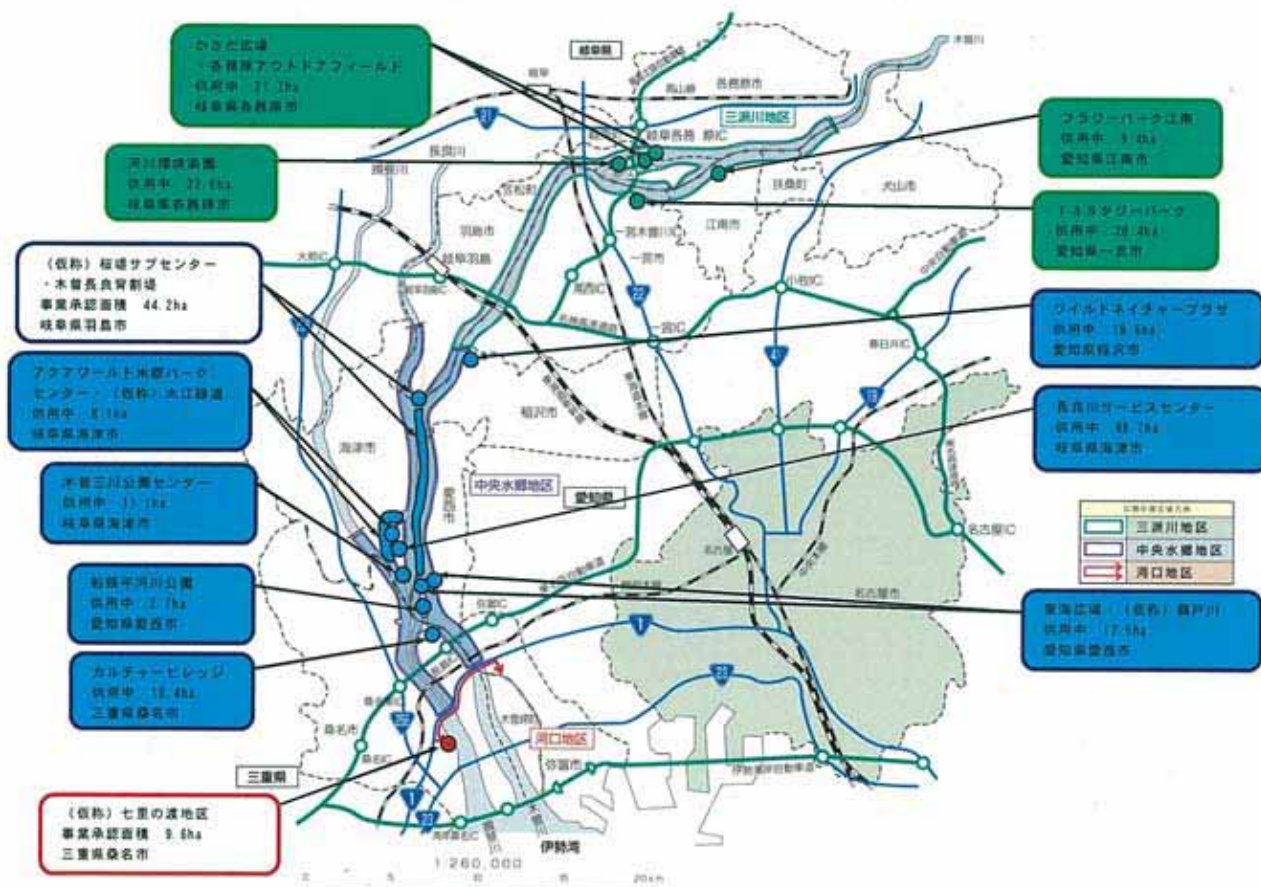
本公園は、東海地方の広域的レクリエーション需要に対応するため、木曾三川（木曾川、長良川、揖斐川）が有する広大なオープンスペースを活用して設置したイ号国営公園です。昭和55年度から事業着手し、昭和62年10月に木曾三川公園センターを一部供用開始して以来、平成21年10月には開園22周年を迎えました。平成21年度に、都市計画決定面積約6,100haのうち、約242haを供用（H22年2月末現在）し、年間入園者は約912万人（H20年度実績）となっています。

2. 平成22年度の事業内容

- ・ ワイルドネイチャープラザ デイキャンプ場等の整備
- ・ (仮称)桜堤サブセンター・木曾長良背割堤 園路・花壇の整備
- ・ (仮称)七里の渡地区 用地補償

3. 期待される整備効果

国営木曾三川公園は全国の国営公園の中で、入場者数が一番多い公園であり、未供用区域の整備を進め追加供用することにより、さらなる利用者が期待されます。





狩野川水系狩野川 河川改修事業（下河原地区）

平成22年度当初： 8.7億円

1. 事業の必要性及び概要

沼津市の人口・資産が集中している下河原地区は、堤防高さ・断面が不足していることから平成19年9月洪水では浸水被害が発生しました。

このような状況に鑑み、浸水被害を解消するための築堤を実施します。

2. 平成22年度の事業内容

築堤護岸 (L=305m)

3. 期待される整備効果

築堤を実施することにより、河川整備計画の目標流量（3,000m<sup>3</sup>/s;概ね1/50）の洪水を安全に流下させることができ、沼津市街地における壊滅的な浸水被害を抑制することができます。



下河原地区では、沼津市と地域住民が一体となって「狩野川の水辺を生かすまちづくり」を進めています。



安倍川水系安倍川 河川改修事業（中島地区）

平成22年度当初： 3.0億円

1. 事業の必要性及び概要

安倍川は我が国有数の急流土砂河川であり、源流には日本三大崩れのひとつ「大谷崩れ」を有することから上流からの土砂流出が膨大で、近年では静岡市街地の広がる下流部において河床上昇が進行しています。このため、中小洪水でも直接洪水流が堤防に作用することにより堤防侵食が生じ、破堤氾濫による壊滅的な被害が発生するおそれがあります。

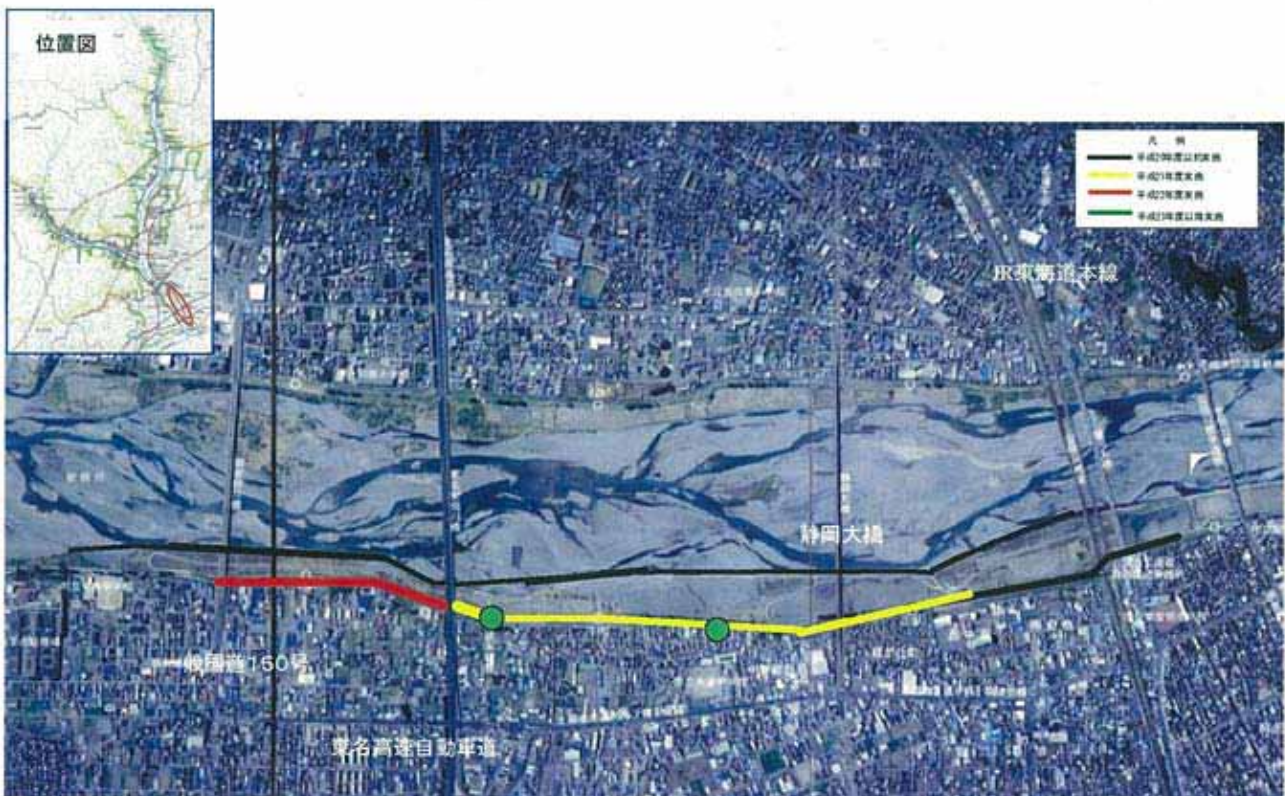
このような状況に鑑み、洪水時のエネルギーが膨大な安倍川において侵食を防止するための堤防強化を実施します。

2. 平成22年度の事業内容

築堤 (L=700m)

3. 期待される整備効果

堤防補強を実施することにより、人口・資産が最も集中する安倍川左岸下流部において、破堤氾濫による壊滅的な浸水被害を軽減させることができます。





**由比地区 地すべり対策事業**

平成22年度当初： 13.7億円

**1. 事業の必要性及び概要**

日本の大動脈（国道1号・東名高速道路・JR東海道本線）が集中している静岡県静岡市清水区由比において、豪雨や東海地震等により大規模な地すべりが発生する恐れがあることにより、当該地区の地すべり機構の解析及び地すべり対策を実施し、日本の東西を結ぶ重要交通網を保全します。

**2. 平成22年度の事業内容**

集水井工、深礎杭工、杭工

**3. 期待される整備効果**

地すべり対策を行うことにより、地すべりの発生を防止し、日本の東西を結ぶ重要交通網を保全します。





## 天竜川水系天竜川 天竜川ダム再編事業

平成22年度当初： 8.0億円

### 1. 事業の必要性及び概要

天竜川は、過去からたびたび大きな洪水被害を受けており、また沿川の浜松市等の市街化が進み、自動車産業や楽器産業等が集積し、東海道新幹線や東名高速自動車道等の主要交通が集中していることから、洪水被害の危険性は増加の傾向にあります。

天竜川ダム再編事業は、利水専用既設ダムである佐久間ダムを有効活用し、治水機能を新たに確保し天竜川中下流部の洪水被害の軽減を図るとともに、ダム貯水池への堆砂を抑制する恒久堆砂対策施設を整備し、洪水調節機能の維持を図ります。

### 2. 平成22年度の事業内容

進入路工事、排砂施設関連の調査、環境調査等

### 3. 期待される整備効果

天竜川ダム再編事業の実施により、これまで幾度となく洪水被害に見舞われてきた天竜川中下流部における洪水被害の軽減や海岸侵食の抑制等を図ります。



佐久間ダム（昭和31年完成）

いずじゅうかん 伊豆縦貫自動車道    ひがしするがわん 国道1号東駿河湾環状道路  
 平成22年度当初： 102.5億円

**1. 事業の必要性及び概要**

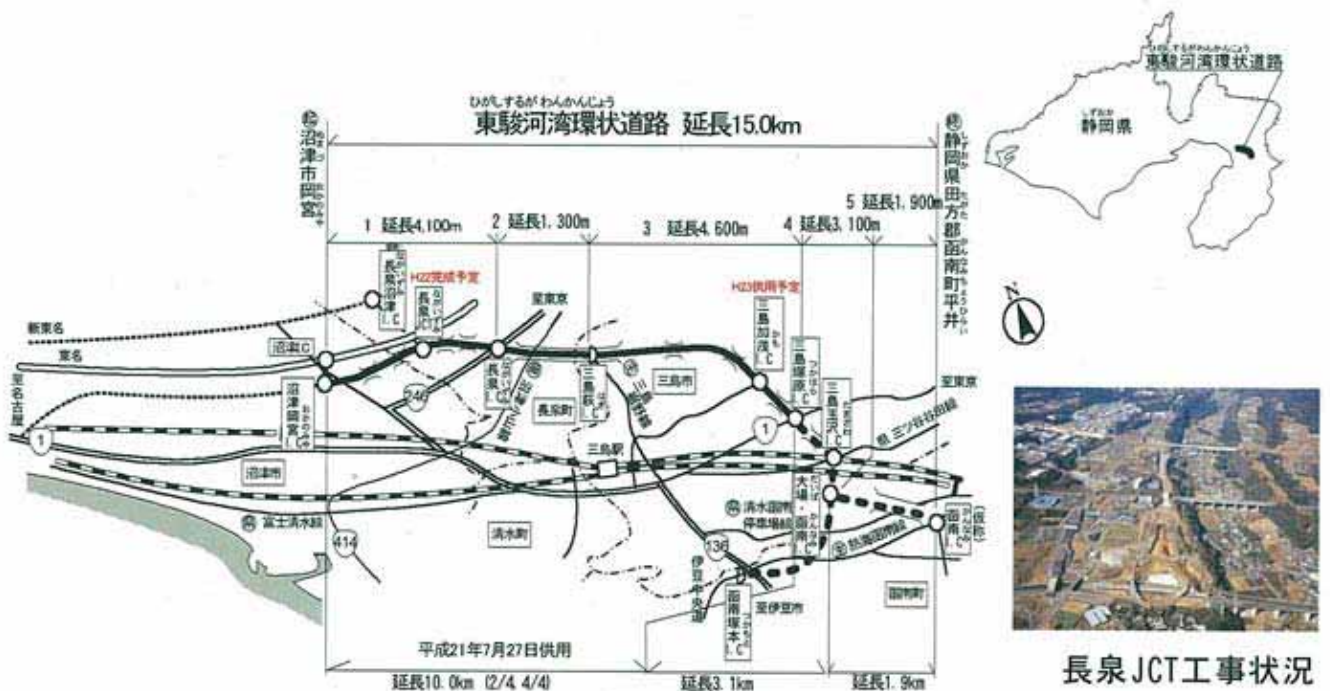
国道1号東駿河湾環状道路は、高規格幹線道路「伊豆縦貫自動車道」の一部を構成するとともに、沼津・三島都市圏の環状道路として、交通の分散導入を図り、市街地内における交通混雑の緩和を目的とする一般国道の自動車専用道路です。

**2. 平成22年度の事業内容**

- ・長泉JCT (L=0.5km、2/2) 【H22年度完成予定】
  - ・三島加茂IC (L=0.9km) 【H23年度供用予定】
- 長泉地区舗装工、谷田高架橋上部工、谷田南高架橋上部工、間宮・大土肥地区橋梁上下部工

**3. 期待される整備効果**

東駿河湾環状道路の整備により、伊豆地域へ流入する観光・物流などの広域交通路と生活交通が分離され、渋滞の緩和が図られます。





三遠南信自動車道 国道474号三遠道路

平成22年度当初： 66.3億円

1. 事業の必要性及び概要

三遠南信自動車道 国道474号三遠道路は、高規格幹線道路「三遠南信自動車道」の一部を構成し、愛知県奥三河地域及び静岡県北遠地域への高速交通サービスの提供、沿線の地域開発及び地域交流の支援等を目的とする道路です。

2. 平成22年度の事業内容

○鳳来IC(仮称)～引佐JCT(仮称)間 (延長13.9km 内愛知県6.1km、浜松市7.8km) 【H23年度供用予定】

- ・別所トンネル、久井田トンネル、三遠トンネル、名号トンネル、大島トンネル施設工
- ・引佐～寺野地区改良舗装工、鳳来・大島地区改良舗装工
- ・引佐高架橋上部工、大島高架橋上部工

3. 期待される整備効果

三遠南信自動車道の整備により、高速交通体系から取り残された長野県南信地域、愛知県奥三河地域、静岡県北遠地域に高速サービスを提供し、地域間交流の活発化が図られ、医療・福祉の迅速な対応が可能となります。



鳳来IC(仮称)付近工事状況



引佐IC(仮称)付近工事状況

**国道1号 静岡バイパス**  
 平成22年度当初：42.0億円

**1. 事業の必要性及び概要**

国道1号静岡バイパスは、地域高規格道路「静岡東西道路」の一部を構成し、静岡市の環状道路の一部として、交通混雑の緩和、交通安全の確保、静岡都市圏の発展の支援等を目的に計画された静岡市清水区興津東町から静岡市駿河区丸子二軒家に至る延長24.2kmの幹線道路です。

**2. 平成22年度の事業内容**

○唐瀬IC～羽鳥IC (延長4.7km、4/4) 【H23年度供用予定】

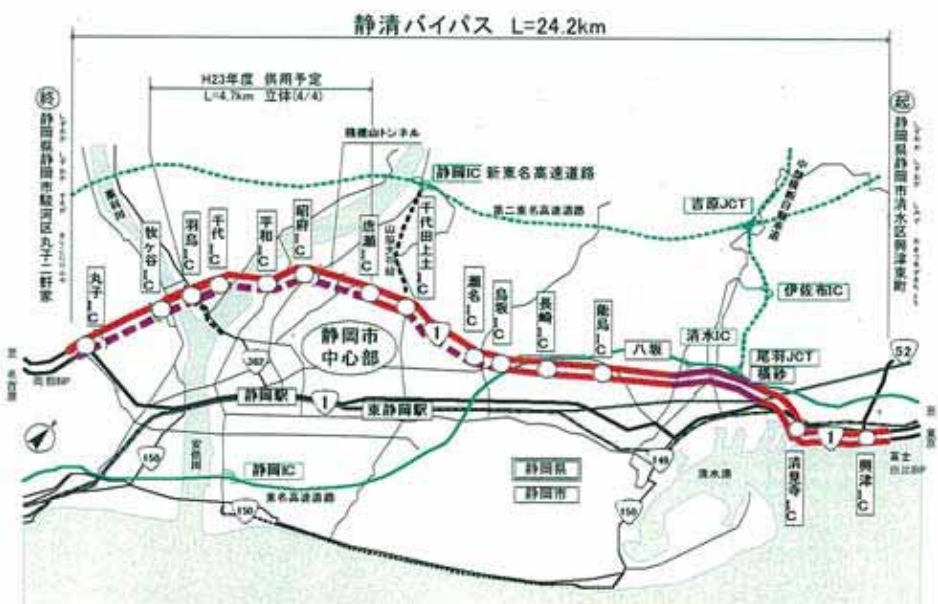
- ・ 賤機山トンネル工、安倍川大橋上部工、平和地区改良工

○羽鳥IC～丸子IC間

- ・ 藁科川橋下部工

**3. 期待される整備効果**

静岡バイパス立体化により、交通混雑が緩和され沿線へのアクセス性が向上し、地域開発等に寄与することが期待されます。



昭府地区工事状況



賤機山トンネル工事状況



しみずこうしんおきつちく

**清水港新興津地区国際海上コンテナターミナル整備事業**

平成22年度当初： 20.0億円

**1. 事業の必要性及び概要**

現在、大型コンテナ船に対応する岸壁の不足から潮待ち等の非効率な荷役・輸送を強いられている清水港において、新たに国際海上コンテナターミナルの整備を実施するとともに、大規模地震への備えとして耐震強化を図ります。

**2. 平成22年度の事業内容**

岸壁(水深15m)(耐震)、泊地(水深15m)、防波堤

**3. 期待される整備効果**

清水港のコンテナ取扱能力が向上することで、大型コンテナ船の潮待ち等の非効率な状況が解消し、地域産業の国際競争力の強化が図られます。また、大規模地震発生時においても国際海上コンテナ物流機能を維持することで、地域経済への影響を軽減します。



庄内川水系庄内川 河川改修事業（岩塚地区）<sup>いわづか</sup>

平成22年度当初： 5.9億円

1. 事業の必要性及び概要

庄内川は名古屋市街地を流下し、ひとたび破堤すれば名古屋駅の浸水など約6兆5千億円となる壊滅的な被害が発生するおそれがあります。

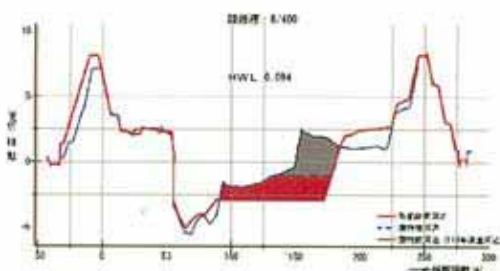
平成12年9月に発生した東海豪雨により甚大な被害を受けたことから、再度災害防止対策として河川激甚災害対策特別緊急事業を実施（平成12～16年度）してきたところですが、さらなる治水安全度の向上のため河道掘削を実施します。

2. 平成22年度の事業内容

河道掘削 (V=50,500m<sup>3</sup>)

3. 期待される整備効果

当面の10年間で約50万m<sup>3</sup>の河道掘削を実施することにより、現況の流下能力3,000m<sup>3</sup>/sを3,500m<sup>3</sup>/sまで向上することができ、平成12年9月の東海豪雨と同規模の洪水が発生した場合でも安全に洪水を流下させることができます。



凡 例	
黒線	平成20年度以前実施
黄線	平成21年度実施
赤線	平成22年度実施
緑線	平成23年度以降実施



国道302号 名古屋環状2号線

平成22年度当初： 116.6億円

1. 事業の必要性及び概要

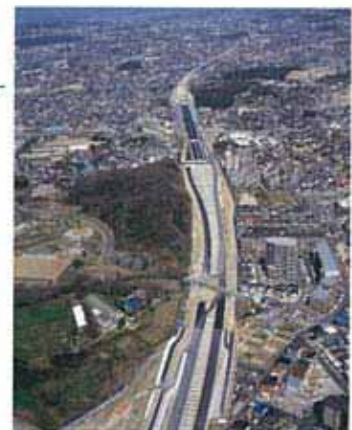
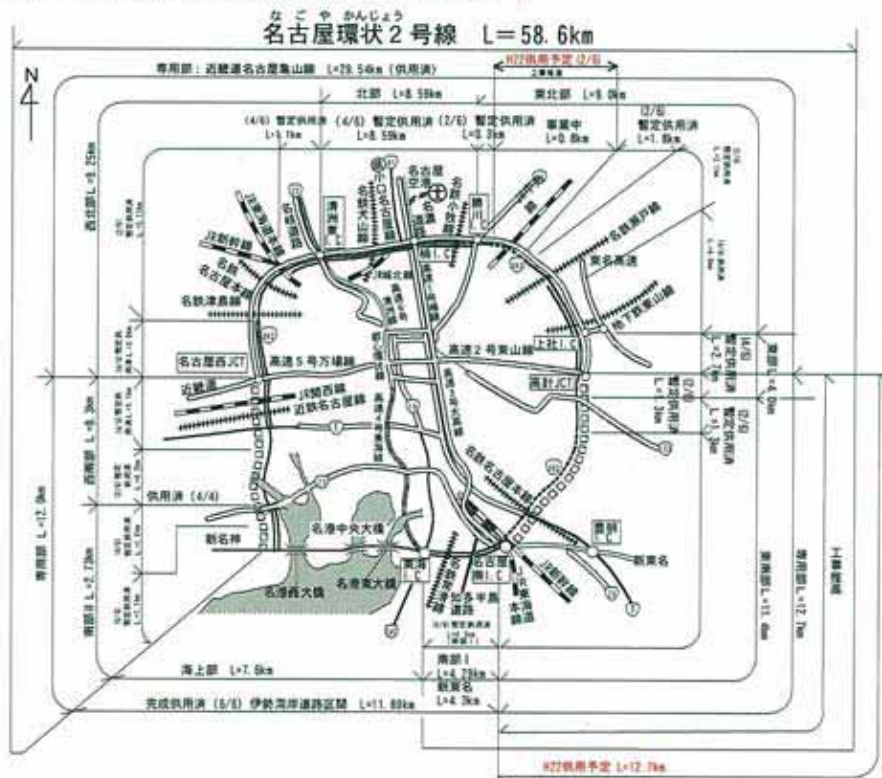
名古屋環状2号線は、名古屋市街部の外縁を形成する総延長約66kmの環状道路で、市内から放射状に伸びる幹線道路や名古屋高速道路と主要地点で連絡し、都市内の渋滞を緩和することなどを目的に計画された幹線道路であり、自動車専用道路と一般道路（国道302号）の複断面により構成されています。

2. 平成22年度の事業内容

- 【東部・東南部】（高針JCT～名古屋南IC）  
 名古屋市名東区高針～名古屋市緑区大高町 (L=12.7km) 【H22年度供用予定】
  - ・高針原～大高地区改良、舗装、遮音壁工
  - ・鳥澄高架橋上部工
- 【東北部】  
 春日井市勝川町～春日井市細木町 (L=0.8km、2/6) 【H22年度供用予定】
  - ・勝川・細木地区改良、舗装工

3. 期待される整備効果

当該道路の整備により、通過交通のバイパス、流入交通の分散化により、名古屋都心の交通渋滞の緩和が期待されます。



有松IC付近工事状況



**国道23号 名豊道路**

平成22年度当初： 189.75億円

**1. 事業の必要性及び概要**

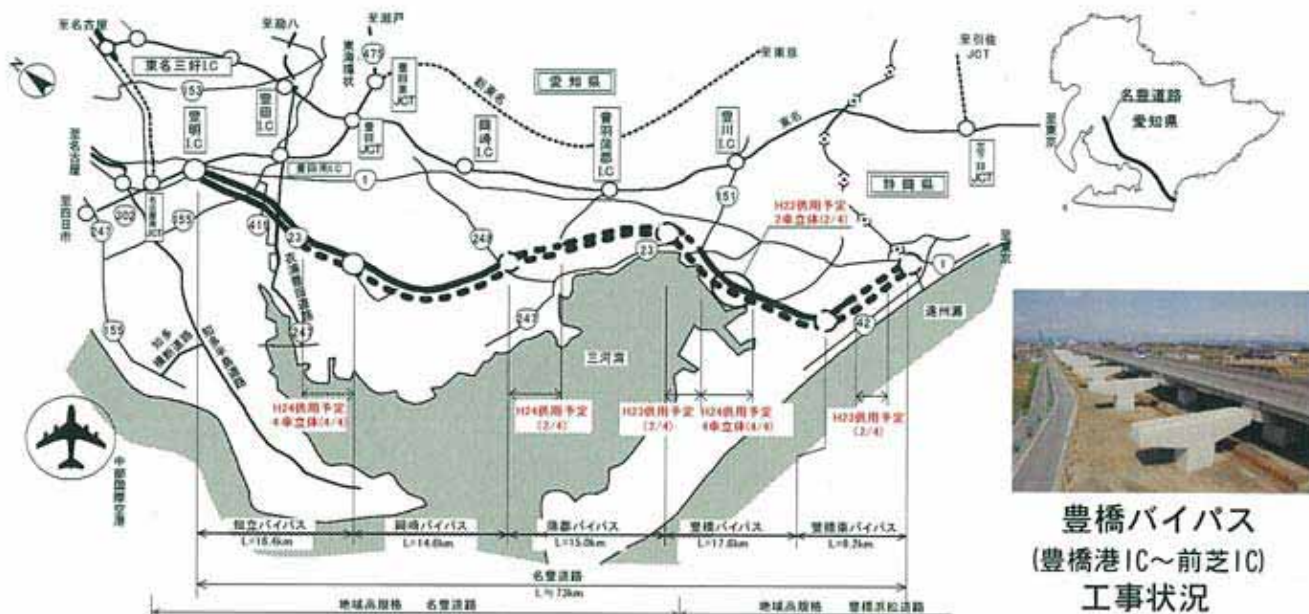
国道23号名豊道路は、名古屋市と豊橋市を結ぶ知立バイパス、岡崎バイパス、蒲郡バイパス、豊橋バイパス、豊橋東バイパスの5つのバイパスで構成され、国道1号及び23号の交通混雑の緩和と通過交通の円滑化を目的に計画された8市1町を通過する延長7.3kmの地域高規格道路です。

**2. 平成22年度の事業内容**

- 【豊橋東バイパス】○東細谷IC～七根IC間 (L=6.9km、2/4) 【H23年度供用予定】
  - ・用地買収、改良工、橋梁工
- 【豊橋バイパス】○豊橋港IC～前芝IC間
  - ・神野新田地区2車立体 (L=2.8km、2/4) 【H22年度供用予定】
  - 改良工、橋梁工
  - ・豊橋港IC～前芝IC間4車立体 (L=7.2km、4/4)
  - 改良工、橋梁工 【H24年度供用予定】
  - 前芝IC～東三河IC間 (L=4.2km、2/4) 【H23年度供用予定】
  - ・用地買収、改良工、橋梁工
- 【蒲郡バイパス】○蒲郡IC～幸田芦谷IC間 (L=5.9km、2/4) 【H24年度供用予定】
  - ・用地買収、改良工、橋梁工、トンネル工
- 【知立バイパス】○安城西尾IC～高棚北IC4車立体 (L=6.4km、4/4)
  - ・改良工、橋梁工 【H24年度供用予定】

**3. 期待される整備効果**

国道23号名豊道路の整備により、国道1号、23号の交通渋滞の緩和、通過交通の円滑化が期待されるとともに、地域間の連携強化による地域振興・発展の促進に寄与します。



なごやこうなべたふとうちく  
**名古屋港鍋田ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業**

平成22年度当初： 34.8億円

**1. 事業の必要性及び概要**

名古屋港における近海航路を中心とする外貿コンテナ輸送需要の増加に対応した取扱能力の向上および飛島ふ頭との連携強化により、物流ネットワークのボトルネックを解消することで、背後圏のものづくり産業の国際競争力強化を支援するため、名古屋港鍋田ふ頭地区において、水深12mの国際海上コンテナターミナルの整備を実施しています。

**2. 平成22年度の事業内容**

岸壁(水深12m)(耐震)、泊地(水深12m)

**3. 期待される整備効果**

名古屋港のコンテナ取扱能力が向上することで、コンテナ船の沖待ちなどの非効率な状況を改善し、地域産業の国際競争力の強化を図ります。また、大規模地震発生時においても国際海上コンテナ物流機能を維持することで、地域経済への影響を軽減します。





みかわこうじんのちく

## 三河港神野地区多目的国際ターミナル整備事業

平成22年度当初： 6.5億円

### 1. 事業の必要性及び概要

東三河・西遠・南信地域の物流拠点として役割を果たす三河港神野地区においては、船舶の大型化に対応し、コンテナも取り扱い可能な多目的国際ターミナル(水深12m)の整備を実施しています。既に整備済み(暫定供用中)の岸壁(水深12m)の能力を最大限に引き出すため、往來の激しい大型船舶の安全な航行の確保として航路泊地の拡幅及び増深を図るとともに港内静穏度確保のため防波堤(北)の延伸を図ります。

### 2. 平成22年度の事業内容

航路泊地(水深12m)、防波堤(北)

### 3. 期待される整備効果

入港船舶の大型化による効率的な輸送(海上輸送コストの削減)や三河港利用による陸上輸送距離の短縮(陸上輸送コストの削減)により、背後産業の国際競争力強化が図られます。



木曾川水系木曾川 河川改修事業（源緑地区）

平成22年度当初： 3.3億円

1. 事業の必要性及び概要

木曾川の河口部に位置する源緑地先は高潮の影響を最も受けやすく災害ポテンシャルが高く、かつ、背後地は閉鎖型の氾濫区域であることから、破堤氾濫した場合には浸水が長期にわたり、壊滅的な被害が発生するおそれがあります。

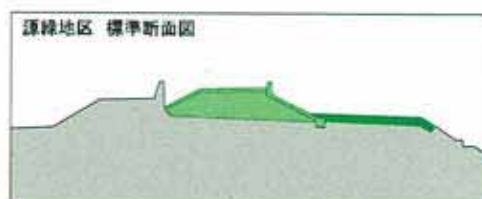
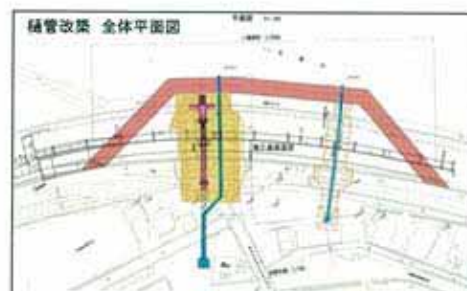
このような状況に鑑み、高潮堤防の補強と合わせて樋管の改築を実施し、治水安全度の向上を図ります。

2. 平成22年度の事業内容

高潮堤防の改築、樋管改築

3. 期待される整備効果

高潮堤防の補強と樋管改築を実施することにより、高潮に対する治水安全度を向上させることができます。





宮川水系宮川 床上浸水対策特別緊急事業

平成22年度当初： 12.0億円

1. 事業の必要性及び概要

平成16年9月の秋雨前線及び台風21号に伴う豪雨では時間雨量100mmを超える記録的な豪雨となり、溢水により床上浸水114戸、床下浸水45戸、浸水面積37haの甚大な被害が発生しました。このような状況に鑑み、再度災害防止対策のために床上浸水対策特別緊急事業を実施（H18～23年度）しています。

2. 平成22年度の事業内容

築堤 (L=250m)、河道掘削 (V=132,000m<sup>3</sup>)

3. 期待される整備効果

築堤や河道掘削を実施することにより、平成16年9月と同規模の洪水が発生した場合でも水位を約50cm低下させることができ、約160戸の浸水被害を解消することができます。





近畿自動車道紀勢線 (尾鷲北～紀伊長島)  
 平成22年度当初： 164.0億円

**1. 事業の必要性及び概要**

近畿自動車道紀勢線は、大阪府松原市を起点とし、和歌山県を經由して三重県多気郡多気町に至る約340kmの高速自動車国道。

そのうち、尾鷲北IC（仮称）～紀伊長島IC（仮称）間の延長21.2kmについては、平成8年12月に整備計画が決定され、平成15年12月の国幹会議において直轄による整備が位置づけられた区間です。

**2. 平成22年度の事業内容**

- 海山IC～紀伊長島IC間（延長15.1km）
  - ・トンネル工、前柱地区改良工、橋梁上部工・下部工、用地買収
- 尾鷲北IC～海山IC間（延長6.1km）【H23年度供用予定】
  - ・トンネル工、尾鷲北地区改良工、橋梁上部工・下部工、用地買収

**3. 期待される整備効果**

当該道路の整備により、災害時の緊急輸送道路の早期確保及び通勤・通学、医療などの日常生活圏域を拡大させる高速交通ネットワークの機能強化が図られるとともに、観光交流の促進により地域活力の向上に寄与します。



尾鷲北IC付近の工事状況



高丸山トンネル工事状況



海山IC付近の工事状況

よっかいちこうかすみがうらきたふとうちく

**四日市港霞ヶ浦北ふ頭地区国際海上コンテナターミナル整備事業**

平成22年度当初： 15.2億円

**1. 事業の必要性及び概要**

伊勢湾スーパー中枢港湾の一翼を担う四日市港においては、背後地域における生産活動及び生活・消費活動の増大に伴い、近年、着実に増加するコンテナ貨物に対応するため、霞ヶ浦北ふ頭において、岸壁(水深14m)を有するコンテナターミナル、岸壁前面の静穏度を確保するための防波堤及びコンテナターミナルと背後地を円滑に結ぶ臨港道路の整備を一体のプロジェクトとして進めているところです。

**2. 平成22年度の事業内容**

防波堤(霞)、臨港道路(霞4号幹線)

**3. 期待される整備効果**

着実に増加するコンテナ貨物に対応することで、地域産業の国際競争力の強化が図られます。

また、臨港道路(霞4号幹線)の整備により、輸送時間の短縮による物流コストの削減・効率化が図られるほか、震災時における霞ヶ浦ふ頭へのアクセス機能確保やふ頭内労働者の安全安心の確保、さらに港湾関連交通による周辺道路への負荷軽減が図られます。





**伊勢湾西南海岸 海岸保全施設整備事業**

平成22年度当初： 6.8億円

**1. 事業の必要性及び概要**

伊勢湾西南海岸は昭和28年の台風13号及び昭和34年の伊勢湾台風で甚大な被害が発生したことを契機に海岸堤防を築造してきましたが、築造後50年が経過しており、堤防の空洞化、コンクリート劣化等により堤防機能が低下していることから、堤防の老朽化対策を実施します。

**2. 平成22年度の事業内容**

松名瀬工区（松阪市）護岸工L=320m、堤防工L=200m

大淀工区（明和町）護岸工L=400m

**3. 期待される整備効果**

伊勢湾西南海岸のうち大淀工区が完成し、計画波浪に対して必要な安全度を確保することができます。





つまつさかこうかいがん  
津松阪港海岸ふるさと海岸整備事業

平成22年度当初： 16.0億円

1. 事業の必要性及び概要

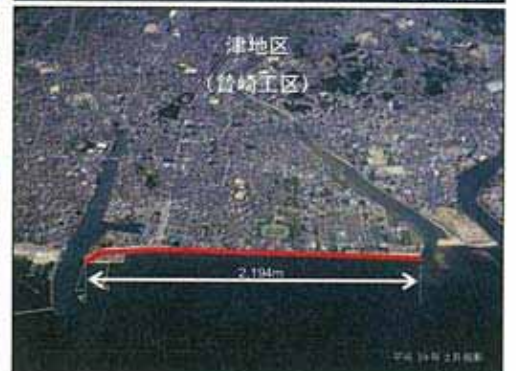
津松阪港海岸は、築後40年以上が経過し、施設の老朽化や護岸天端の沈下等の機能低下が生じており、地震発生時の液状化も懸念されています。このため、老朽化対策及び液状化対策を行い、地域住民に親しまれ、海辺とふれあえる美しい景観をもった安全で潤いのある海岸空間の創出を図ることとしています。

2. 平成22年度の事業内容

護岸改良（津地区、三雲地区）

3. 期待される整備効果

護岸の改良を行うことにより、地域の安全・安心を確保するとともに、市民が容易に海浜部に訪れ、憩い、楽しむことができます。





**天竜川水系天竜川 激甚災害対策特別緊急事業**

平成22年度当初： 6.9億円

**1. 事業の必要性及び概要**

平成18年7月の豪雨は観測史上最大となる雨量を記録し、諏訪湖周辺では広範囲にわたって浸水被害が発生し、天竜川では、箕輪町松島地先で堤防が決壊するなど甚大な被害が発生しました。このような状況に鑑み、長野県と一体となって、再度災害防止対策のために激甚災害対策特別緊急事業を実施（H18～22年度）しています。

**2. 平成22年度の事業内容**

築堤 (L=2,100m)、河道掘削 (V=54,000m<sup>3</sup>)、護岸工 (A=6,300m<sup>2</sup>)

**3. 期待される整備効果**

築堤や河道掘削を実施し激甚災害対策特別緊急事業を完成させることにより、平成18年7月と同規模の洪水が発生した場合でも安全に洪水を流下させることができます。





木曾川水系木曾川 直轄砂防事業（北股沢床固工群）

平成22年度当初： 8.3億円

1. 事業の必要性及び概要

滑川の上流域は重荒廃地であり、近年、土石流が頻発し、河道には過去からの流出土砂が不安定な状態で堆積しています。下流には、甲信越地域～中京圏を結ぶ重要交通網である国道19号やJR中央本線、災害時要援護者関連施設、避難地等の保全対象が存在します。

このような状況を踏まえ、中流域の土砂流出抑制対策として床固工群の整備を実施します。

2. 平成22年度の事業内容

護岸工 (L=390m)、河道整正工

3. 期待される整備効果

土石流の捕捉及び河道に堆積した不安定土砂の移動抑制効果を高めることにより、下流部の保全対象の被害軽減及び木曾川本川への土砂流出抑制を図ります。



**国道153号 伊南バイパス**  
 平成22年度当初： 16.0億円

**1. 事業の必要性及び概要**

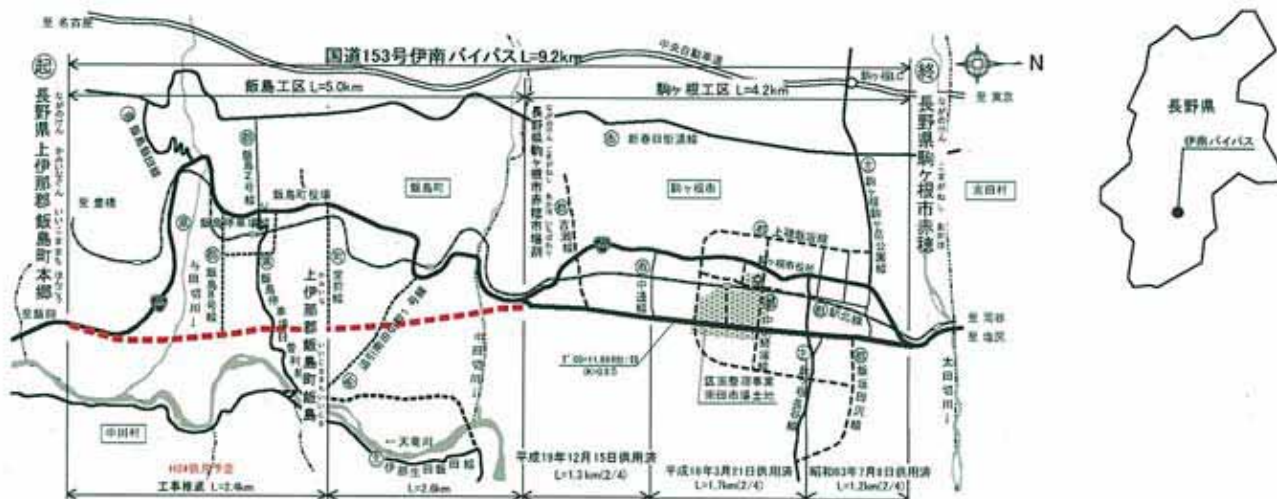
国道153号伊南バイパスは、長野県上伊那郡飯島町における現道の線形改良、駒ヶ根市の交通渋滞の緩和及び新たな市街地形成を担う骨格道路として計画された長野県上伊那郡飯島町本郷から駒ヶ根市赤穂に至る延長9.2kmの幹線道路です。

**2. 平成22年度の事業内容**

- 飯島町本郷～飯島町飯島間（延長2.4km）【H24年度供用予定】
  - ・田切地区改良工
  - ・1号橋上部工

**3. 期待される整備効果**

伊南バイパスの整備により、現国道153号の急激な起伏やカーブによる事故発生に対する安全性を高めるとともに、駒ヶ根市市街地部等における通勤時や休日を中心とする交通集中による渋滞の緩和を図ります。



飯島町本郷付近の工事状況



**静岡地方合同庁舎等 官庁施設整備事業**

平成２２年度当初： ６．３億円

**１．事業の必要性及び概要**

官庁施設の整備については、老朽化した官庁施設が今後増大していく中、既存庁舎施設の有効利用を図りつつ、安全・安心の確保等に的確に対応することが重要です。

このため、劣化した外壁や不具合の生じたエレベーター設備等の人身事故のおそれのある箇所の改修を行い、行政サービス提供の場としての機能を発揮するための整備を実施します。

**２．平成２２年度の事業内容**

- 受変電設備改修等                   ：静岡地方合同庁舎 等
- 外壁改修等                         ：岐阜県警察学校 等
- エレベーター設備改修           ：名古屋第３地方合同庁舎
- 空調設備等改修                 ：津第２地方合同庁舎（継続）

**３．期待される整備効果**

既存官庁施設の危険箇所や老朽化した設備等の改修を行い、既存官庁施設の有効活用を図りつつ、来訪者等の安全確保や円滑な業務実施に資する庁舎整備を図ります。

**【危険箇所の例】**

外壁タイルの落下状況

〔 外壁落下による人身事故のおそれがあり、外壁改修が必要 〕